

沖 縄

沖縄の景気は、住宅建築が足踏みしたものの、個人消費、観光が好調な動きにあるなど、好調。

個人消費は、百貨店販売が減少したものの、飲食料品を中心にスーパー販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、好調。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、足踏み。設備投資は、建築着工床面積が減少するなど、足踏み。公共工事は、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等、県が減少するなど、足踏み。輸出は、一般機械、輸送用機器、再輸出品が減少するなど、弱含み。

生産活動は、プラスチック製品が増加したものの、食料品、窯業・土石製品が減少するなど、横這い。観光は、国内客・外国人客ともに増加するなど、好調。雇用は、完全失業率が悪化したものの、有効求人倍率が上昇するなど、改善。

先行きは、好調が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								